



本事業は、SDGsの「17 パートナリーシップで目標を達成しよう」に資する取組です。

2026 年 7 月 8 日（水）
愛知県政策企画局国際課
国際戦略グループ
担当 織田、中井
内線 2447、2399
ダイヤルイン 052-954-6130

愛知県経済産業局産業部
産業立地通商課国際業務企画グループ
担当 植村、太田
内線 3394、3393
ダイヤルイン 052-954-6356

愛知県都市・交通局航空空港課
利用促進グループ
担当 安達、箱井
内線 2271、2621
ダイヤルイン 052-954-6133

知事の東南アジア渡航中の行事結果について

2026 年 7 月 7 日（火）午前、知事はタイ王国・バンコク都において、おおかまさと大鷹正人駐タイ日本国大使、ラートラックバンコク都副事務次官と面談しました。

午後には、タイ運輸省において、ピパット副首相兼運輸大臣と面談し、インフラ・交通分野における協力に関する覚書（MOU）を締結しました。さらに、エアポートセールスのため、タイ国際航空のタマヌーン営業統括責任者及びトリッティ日本地区統括 GM と面談しました。また、パサコン工業省副事務次官と面談しました。

その後、愛知県主催で経済交流会を開催し、タイ王国政府、現地企業・団体及び愛知県からの進出企業など、約 250 名が出席しました。

1 大鷹駐タイ日本国大使との面談

（担当：国際課）

（1）日時

2026 年 7 月 7 日（火）午前 9 時 15 分から午前 9 時 50 分まで
（日本時間 7 月 7 日（火）午前 11 時 15 分から午前 11 時 50 分まで）

（2）場所

駐タイ日本国大使館（バンコク郡）

（3）面談者

大鷹正人駐タイ日本国大使

（4）愛知県側出席者

大村秀章知事

たなか ゆたか
名古屋商工会議所 田中豊常務理事・事務局長

(5) 内容

大村知事は、駐タイ日本国大使館を訪問し、大鷹大使と面談しました。

大村知事は「愛知県の製造品出荷額は突出して国内第1位であり、自動車産業だけでなく、航空宇宙産業、ロボット産業も推進している。2024年には、日本最大のスタートアップ支援拠点である「STATION Ai」がオープンし、スタートアップ約700社、パートナー企業約400社を集めている。また、2022年には、「ジブリパーク」を愛・地球博記念公園内に開園した。スタジオジブリは、世界コンテンツでありファンが多く、タイからも大勢来ていただいている。大鷹大使にも是非訪れてほしい。」と発言しました。

大鷹大使は、「2027年に日・タイ修好140周年を迎えるため、今年9月には、日本とタイが同じロゴマークを作成する。各種イベントにおけるロゴマークの使用を広く呼び掛けていきたい。また、愛知の日泰寺は大事な存在であり、ワチラロンコン国王やシリントーン王女も訪問された。さらに知名度を上げる余地はあり、140周年の機会に日泰寺を広く知っていただければと思う。日本には世界にアピールすべき素晴らしい建築物が多くあるが、愛知県のIGアリーナも世界にアピールすべき建築物の1つである。」と述べられました。

これに対して大村知事は、「日泰寺にはチュラロンコン大王の銅像があり、タイ王国の国王の像がタイ国外にあるのは日泰寺のみである。また、お釈迦様の遺骨も収められている。」と述べました。

また、今年9月から10月にかけて愛知県で開催される第20回アジア競技大会、第5回アジアパラ競技大会や、2027年に開催される第60回アジア開発銀行年次総会等について紹介し、幅広く意見交換を行いました。



大鷹大使とアジア・アジアパラ
競技大会公式マスコット
「ホノホン・ウズミン」



大鷹大使との記念撮影

2 バンコク都副事務次官との面談

(担当：国際課)

(1) 日時

2026年7月7日(火) 午前10時30分から午前11時05分まで

(日本時間7月7日(火) 午後12時30分から午後1時05分まで)

(2) 場所

バンコク都庁(バンコク都)

(3) 面談者

ラートラック・リーラルアンサン バンコク都副事務次官

(4) 愛知県側出席者

大村秀章知事

名古屋商工会議所 田中豊常務理事・事務局長

(5) 内容

大村知事は、バンコク都庁を訪問し、ラートラックバンコク都副事務次官と面談しました。

ラートラック副事務次官は、「バンコク都と愛知県の両都市は、緊密で友好的な関係を築いており、青少年の交流や、文化交流において、重要な役割を果たしている。こういった強固な絆をさらに深めていきたい。また、2025年3月、バンコク都は愛知県の高校生訪問団の表敬を受け、意見交換を行った。さらに、愛知県では2026年9月から10月まで、アジア・アジアパラ競技大会が開催され、今回はその広報活動でもあると伺っている。私たちは市民への情報発信を喜んで手伝わせていただきたい。」と発言されました。

大村知事は、はじめにパチャラキティヤパー王女殿下の薨去に対して哀悼の意を表しました。続けて、「愛知県とバンコク都は、14年前に私がバンコク都を訪問し、この場所で当時のスクムパンバンコク都知事と『相互協力に関する覚書』を締結し、その後も着実に交流を重ねてきた。そして、今回の私のバンコク都訪問は、5回目となる。両地域では高校生訪問団の相互派遣も盛んに行われており、これまでにバンコク都からは7回、愛知県からは6回、生徒を互いに派遣している。さらに今年9月には10名のバンコク都の高校生訪問団を受け入れる予定である。」と発言しました。

また、大村知事は、「愛知県企業はタイに約480社が進出している。そして、愛知県はバンコク都に駐在員をおき、ビジネスをサポートしている。」と、愛知県とバンコク都の経済的な繋がりについて説明しました。さらに、「アジア競技大会」及び「アジアパラ競技大会」について、「アジア45の国と地域から、アジア大会には最大15,000人、アジアパラ大会には約4,000人の選手団を受け入れる予定である。アジア大会の日本での開催は、東京、広島に続いて3回目である。バンコク都では過去4回開催されており、スポーツにおいてもバンコク都と愛知県で交流を深めていきたい。」と述べるとともに、「貴国はセパタクローが非常に強く、前回の中国・杭州^{こうしゅう}大会では、セパタクロー、セーリング、テコンドーの金メダルを始め58個のメダルを獲得しているほか、アジアパラ大会でも108個のメダルを獲得している。スポーツを通じて、バンコク都との交流が深まるとともに、多くの選手が愛知にお越しいただくことを期待している。」と発言しました。

これに対して、ラートラック副事務次官は、大村知事の発言に感謝を伝えるとともに、「次の大会では、今お伝えいただいたメダルを超えたいと思っている。」と発言されました。

これに対して、大村知事は、「貴国の選手では、タイ王室のシリワンナワリー王女殿下が馬術に選手として出場する予定と伺っており、活躍を期待している。」と応えました。

そして、最後に大村知事は、「2027 年 5 月に愛知でアジア開発銀行年次総会を開催する。これには、アジア太平洋はじめ 70 の加盟国から政府・金融関係者が参加する予定である。」と述べるとともに、「愛知県ではスタートアップの育成にも力を入れており、スタートアップの関係でもバンコク都の皆様と連携をしていきたい。」と経済面での交流について、発言しました。

これに対してラートラック副事務次官は、「愛知県との交流について、これまでの青少年交流等に加えて、これまでよりも拡大できることを祈っている」と応じ、今後も両地域の発展に向けて協力していくことを確認しました。



ラートラック副事務次官との冒頭挨拶



ラートラック副事務次官との面談の様子



ラートラック副事務次官と
アジア・アジアパラ競技大会
公式マスコット「ホノホン・ウズミン」



面談出席者との記念撮影

3 ピパット副首相兼運輸大臣との面談、覚書締結

(担当課：航空空港課)

(1) 日時

2026 年 7 月 7 日 (火) 午後 1 時 30 分から午後 2 時 30 分まで

(日本時間 7 月 7 日 (火) 午後 3 時 30 分から午後 4 時 30 分まで)

(2) 場所

タイ運輸省 (バンコク)

(3) 面談者

ピパット・ラチャキットプラカーン副首相兼運輸大臣

(4) 愛知県側出席者

大村秀章知事

名古屋商工会議所 田中豊常務理事・事務局長

(5) 内容

覚書調印式の前に行われた面談において、大村知事は、まずパチャラキティヤパー王女殿下の薨去について哀悼の意を表しました。続けて、「来年（2027年）は、日本とタイ王国の修好140周年を迎えるが、今回締結する『インフラ・交通分野における協力に関する覚書（MOU）』も踏まえ、本県としても、貴国とのさらなる交流・連携の拡大に向けて、しっかりと取り組んでいきたい。」「タイと中部国際空港を結ぶ直行便は現在週7便であるが、路線の拡充について後押しをお願いしたい。」「アジア競技大会・アジアパラ競技大会について、タイからも多くの方々にお越しいただき、大会をともに盛り上げていただきたい。また、運輸省の方々にもぜひ愛知県にお越しいただきたい。」など発言しました。

これに対して、ピパット副首相兼運輸大臣は、「運輸省が愛知県と覚書を締結するのは初めての事である。愛知県には、新幹線をはじめ運輸省として参考にさせていただきたい優れたインフラ技術等が多く、様々な情報交換や連携の可能性がある。タイとの連携は、ASEAN全体への日本の技術の共有や普及にもつながるものと考えている。実務的な連携に向けた今後の議論に大いに期待している。」「中部ーバンコク路線の拡充については、運輸省事務次官からもタイ国際航空に対して増便要請を行いたい。」「アジア競技大会・アジアパラ競技大会は、地域間の交流の促進に大きく資するものであり、成功に向けて、運輸省としても最大限サポートをしていきたい。また、大会期間中に我々も愛知県を訪問したい。」などと応じました。

(6) 覚書調印式について

ア 署名者

大村秀章知事

ジラロート・スコンラット運輸省運輸交通政策計画局長

イ 覚書名称

タイ王国運輸省と日本愛知県とのインフラ・交通分野における協力に関する覚書（MOU）

ウ 覚書内容

- ・インフラ・交通分野における政策と発展に関する相互理解を深めることを本覚書の目的とする。
- ・公共交通のモビリティ（自動運転車等に関する情報交換）、航空（タイと中部国際空港間の航空ネットワークの拡大）、海上輸送（海上貨物ネットワークの拡大、クルーズターミナル等に関する情報交換）を含むインフラ・交通開発分野における、相互に関心のある特定の分野において、知識、経験、技術の情報を交換し、より緊密な関係を構築するために活動する。

エ 出席者

- ・ピパット・ラチャキットプラカーン副首相兼運輸大臣
- ・チャヤタム・プロムソーン運輸省事務次官

- ・ プンヤー・チュパーニット運輸省次官補
- ・ ジラロート・スコンラット運輸省運輸交通政策計画局長
- ・ ニヤダ・プッティウィタヤナン運輸交通政策計画局企画部長
- ・ 大鷹正人駐タイ日本国大使



ピパット副首相兼運輸大臣との
面談の様子



ピパット副首相兼運輸大臣との記念撮影



覚書（MOU）調印式①



覚書（MOU）調印式②

4 タイ国際航空へのエアポートセールス

（担当課：航空空港課）

- (1) 日時
2026年7月7日（火）午後3時30分から午後4時45分まで
（日本時間7月7日（火）午後5時30分から午後6時45分まで）
- (2) 場所
タイ国際航空本社（バンコク都）
- (3) 面談者
タマヌーン・クプラサート営業統括責任者
トリッティ・サワディゴーン日本地区統括 GM 他
- (4) 愛知県側出席者
大村秀章知事
名古屋商工会議所 田中豊常務理事・事務局長
中部国際空港株式会社 かごはしひろのり 籠橋寛典代表取締役社長

(5) 内容

大村知事はタイ国際航空本社を訪問し、タマヌーン営業統括責任者及びトリッティ日本地区統括 GM 等と面談しました。

大村知事から、「38年にわたり名古屋－バンコク線を運航し、両地域の交流を支えていただき感謝している。アウトバウンドについて、愛知県からは多くの企業がタイに進出しており、長年築かれてきた強固な経済関係のもと、今後も安定したビジネス往来需要が見込まれる。インバウンドについても、日本を訪れるタイ人旅行者数はコロナ禍以降着実に増加しており、中部国際空港を玄関口とする訪日客数も同様に増加傾向にある。このような活発な双方向の交流を一層後押しするため、本県としても魅力的なコンテンツの造成やプロモーションの実施などを精力的に行っている。これらの施策を通じて、両地域の往来が一層活発化することを強く期待している。」と発言しました。

さらに、「人の往来を支える上で、航空ネットワークの充実は極めて重要である。ぜひとも、タイと中部国際空港を結ぶ路線のさらなる拡充についてお願いしたい。」と発言しました。

続けて、田中常務理事・事務局長、籠橋社長からは、タイと中部国際空港を結ぶ路線の需要等について説明を行うとともに、企業活動の観点等からも、路線の拡充を強く希望する旨の発言がありました。

これに対して、タマヌーン営業統括責任者は、「タイ国際航空への訪問を歓迎するとともに、路線検討にあたって非常に有用な情報をいただき感謝する。日本は非常に重要なディスティネーションであり、中部国際空港もポテンシャルのある重要な拠点であると考えている。我々としても、機材の大型化や増便により現在の路線を拡充することを、前向きに考えていきたい。今後、具体的な調整を進めていきたい。」と応じました。



愛知県の取組について説明する大村知事



大村知事からタマヌーン営業統括責任者へ
アジア・アジアパラ大会マスコット
「ホノホン・ウズミン」を贈呈



握手を交わす大村知事と
タマヌーン営業統括責任者



集合写真

5 タイ工業省副事務次官との面談

(担当課：産業立地通商課)

(1) 日時

2026 年 7 月 7 日 (火) 午後 5 時 45 分から午後 6 時 10 分まで

(日本時間 7 月 7 日 (火) 午後 7 時 45 分から午後 8 時 10 分まで)

(2) 場所

ホテル「オークラ・プレステージ・バンコク」 (バンコク都)

(3) 面談者

パサコン・チャイラット工業省副事務次官

(4) 愛知県側出席者

大村秀章知事

大鷹正人駐タイ日本国大使

名古屋商工会議所 田中豊 常務理事・事務局長

(5) 内容

大村知事は、タイ工業省パサコン副事務次官と面談しました。

大村知事は、冒頭、パサコン副事務次官と 3 回目の面談となることの喜びを述べるとともに、「タイと愛知県の関係については、2014 年 9 月に私がタイを訪問し、愛知県と貴省の間で『経済連携に関する覚書』を締結して以来、様々な経済交流を着実に進めてきた。現在、愛知県からタイには、中国、アメリカに次いで 3 番目となる約 480 社が進出している。特に、本県の自動車関連企業では、トヨタ自動車及びグループ企業がタイを拠点としてビジネスを展開しており、雇用創出や人材育成に貢献してきた。愛知県は、製造品出荷額が 47 年間国内第 1 位であり、自動車産業の他、航空宇宙産業、ロボット産業の集積地となっている。また、スタートアップ支援にも力を入れており、日本最大のスタートアップ支援拠点『STATION Ai』が 2024 年 10 月にオープンした。タイとは、スタートアップやイノベーションの分野でも連携できると考えている。」と発言しました。

また、「今年 9 月から 10 月にかけて、愛知県において、『第 20 回アジア競技大会』及び『第 5 回アジアパラ競技大会』が開催される。アジア競技大会の日本開催は今回で 3 回目となるが、バンコクではこれまで 4 回開催されており、タイの皆様にとっても馴染みのある大会ではないかと思う。今回もタイ選手団の皆様の活躍を期待している。」と述べました。

さらに、「毎年6月に国際産業展『AXIA EXPO』を開催しており、県では、アジアの企業に出展していただく『アジアパビリオン』を設置する。是非来年の『AXIA EXPO 2027』には、タイの企業の皆様にも出展をお願いしたい。」と述べました。

これに対してパサコン副事務次官は、「タイ工業省と愛知県の関係は、2014年のMOU締結以来、干支で数えると一周を迎え、12年となる。多くの愛知県企業がタイに進出し、雇用創出や大きな経済効果を生んでおり、愛知県とタイの協力関係には感謝しかない。中でもトヨタ自動車は非常に大きな存在であり、特に使用済みの廃車をリサイクルする仕組みについては、タイ政府として支援を検討している。また、自動車産業を支援するための委員会を設置する予定であり、自動車メーカーにどのようなニーズがあるのか聞き取るとともに、どう支援していくのか検討しているところである。」と話しました。

また、「STATION Aiは非常に興味深い。イノベーションを生み出していくことは今後不可欠である。また、AXIA EXPOのアジアパビリオンにも非常に関心がある。詳細が決まったら是非案内してほしい。」との発言がありました。

これに対して大村知事は、「AXIA EXPOの内容は8月に決まるため、固まり次第連絡させていただく。今後も愛知県とタイのつながりをより一層深め、日本とタイの関係強化に貢献してまいりたい。貴職にも引き続きお力添えを賜りたい。近いうち、是非愛知県を訪問してほしい。」と述べ、面談を締めくくりました。



パサコン副事務次官との面談の様子①



パサコン副事務次官との面談の様子②



パサコン副事務次官との記念撮影



面談出席者との記念撮影

6 経済交流会（愛知県主催）

（担当課：産業立地通商課）

（１）日時

2026 年 7 月 7 日（火）午後 6 時 30 分から午後 8 時 10 分まで
（日本時間 7 月 7 日（火）午後 8 時 30 分から午後 10 時 10 分まで）

（２）場所

ホテル「オークラ・プレステージ・バンコク」（バンコク都）

（３）出席者

大村秀章愛知県知事、パサコン・チャイラット工業省副事務次官
大鷹正人駐タイ日本国大使はじめ約 250 名

（４）内容

愛知県は、タイの政府要人や経済団体、タイ企業、県内進出企業、現地日本政府関係機関、愛知県訪問団が一堂に会する経済交流会を開催し、両地域の友好関係を深めました。

大村知事は、主催者挨拶の冒頭で、タイでの経済交流会の開催は 2018 年以来 8 年ぶりとなること、また愛知県は、2014 年 9 月に工業省との「経済連携に関する覚書」を締結し、また同じく 2014 年に「愛知県バンコク産業情報センター」を設置するなど、経済分野で緊密な関係を構築してきたと述べました。

また、今回のタイ訪問では、バンコク都を訪問し、経済面等での愛知とタイとの関係強化に向けた意見交換を行ったことに加え、運輸省にて、ピパット副首相兼運輸大臣と面談し、本県と運輸省との間で、「インフラ・交通分野における協力に関する覚書」を締結したことを発表しました。さらにタイ国際航空を訪問し、中部－バンコク線の早期増便を要請したことも明らかにしました。

その後、大村知事は、「STATION Ai」、「ジブリパーク」といった様々な愛知の魅力を紹介するとともに、「今年秋に開催される『第 20 回アジア競技大会』及び『第 5 回アジアパラ競技大会』には、タイから 700 人を超える選手団が参加する予定と聞いている。」と述べ、本日の交流会の参加者に愛知へのさらなる来訪を呼びかけました。

主催者挨拶の結びには、愛知県とタイの深いつながりを象徴する日泰寺について紹介しました。「日泰寺は、1900 年にチュラロンコーン大王からいただいた仏舎利を安置するために建立され、境内には、チュラロンコーン大王の銅像がある。タイ国外でタイの国王の像があるのは、世界で愛知だけである。」と述べ、愛知県とタイとのつながりを強調しました。

来賓挨拶では、パサコン工業省副事務次官は「本日は、タイ企業と愛知県企業が交流できる機会を設けていただき、知事に深く感謝する。引き続き不確実性の高い世界情勢に適用していくため、愛知県が取り組む STATION Ai などにおけるスタートアップ支援などで連携していきたい。」と述べられました。

続いて、大鷹駐タイ日本国大使は「タイは、日本にとって重要な製造拠点であり、日本企業はタイ経済を支えてきたが、昨今タイの日系自動車企業は、中国等から輸入される EV 車に対する税制優遇策を受け、厳しい状況にある。こうした中、大村知事の今回のタイ訪問は愛知県からの進出企業を励ますもので、非常に時宜にかなったものと考え

る。来年は日タイ国交樹立 140 周年を迎えるが、これを機に、愛知県企業の事業活動を原動力とし、日タイ関係をさらに強固なものとしていきたい。」と話しました。

経済交流会では、アジア競技大会の正式種目となる e スポーツの著名プレーヤーらによるアトラクションが行われたほか、会場内には STATION Ai、ジブリパーク、アジア競技大会及びアジアパラ競技大会を紹介する特設コーナーの設置や、天むすや手羽先といった愛知の食の提供など、愛知の魅力を大いに PR する機会となりました。



大村知事による主催者挨拶



パサコン副事務次官による来賓挨拶



大鷹駐タイ日本国大使による来賓挨拶



タイ人 e スポーツプレーヤーとの記念撮影